

北海道・修学旅行特集



開業5周年に寄せて
多文化共生社会
在り方を学んで

初に比べ、お客さまとスタッフによる交流のプログラムが増えています。一緒に大人もみんな笑顔で、結び歌ったり楽器を演奏したりの弓矢を試したり、世代を問わずアイヌ文化を体感できます。

最近の教育旅行では、生徒による探究学習への取り組みがテーマになっており、「ウポボー」でも同地域での登別・洞爺エリアと連携し、共生社会実現の探究学習プログラムを提供しています。

全国からの高校生のお客さまが、このプログラムでウポボーをはじめ、また夏休みの間に子供も大人もみんなワークショッップを企て体験やものを学ぶ機会も提供しております。スタッフも交流し、アイヌ文化に触れ、感じ、楽しんでいただきたいと思っています。

園内ではワークシッ



民族共生象徴空間
「ウポポイ」運営本部長
村木美幸
さん

アイヌ民族の歴史や文化を紹介する。

基本展示室は「私たちのことば」「私たちの世界」「私たちのくらし」「私たちの歴史」「私たちのしごと」「私たちの交流」の6つのテーマで構成。

ユネスコ無形文化遺産に登録された古式舞踊や各地で伝承されている歌や踊りや語りの上演、リリク（口琴）の演奏を行っている。

ホールは、客席とステージが近く、出演者と観客の交流ができ、会場一体となって楽しむことができる。

【実演映像プログラム】

○「シノツ」(踊り、遊び)、「イメル」(稲光)

体験交流ホール

中央の三ツ屋から
の先住民族の歴史・文化
周辺に自由に回りながら
に関する最新の調査・研

国立アイヌ民族博物館

愛称「ウポポイ」

愛称の「ウポポイ」は、トなどが体験できる施設「アイヌ語」（おわげい）を増設。園内を低速で移動するスローモビリティ（22人乗り）の導入や、など、積極的な取り組みを進めている。そこで、5周年を迎える「ウポポイ」の施設や、体験プログラムを紹介する。

アイヌ民族の文化復興拠点として2020年から北海道日立市オホ・ロ湖畔に設置した「ナショナルセンター」が、湖の豊かな自然とつづいて広がる民族共生象徴空間「ウポロビ」(国が先住民であるアイヌ民族の文化を伝統的に守り伝える施設)と併せて、アイヌ民族博物館や体験交流センターなど、7月で開業5周年を迎える。約10段の敷地に国立アイヌ民族博物館や体験交流センター、式典ホール、工芸、茅葺きの茶舎、野外ステージなどを整備。アイヌ民族の貴重文化財や資料の展示、古式舞踊の上演、工芸品の製作実演など多彩な体験メニューを提供している。開業がコロナ禍による観光客減少の時期と重なり、一時、休園するなど苦心の運営を重ねられた。しかし、これによって、毎年30数万人が来場。修学旅行でも道内外から6万を超える生徒が訪れるようになった。北海道の新たな名所となり、教育旅行の学習の場となっている。

毎年30数万人が来場

道内外からの教育旅行で6万人超

アイヌ民族と文化

はアイヌ語で「人間」を指す言葉。アイヌ民族は独自の言語や文化、歴史を有する先住民族で、アイヌ語で「八間」を指す言葉。本州北部・北海道・樺太・千島列島などに住み、狩猟・漁撈・採集農耕・周辺民族との交易を生業とし、各地にコタン（村）または集落を形成して暮らしてきた。

現在は、北海道を中心として、本州以南や、さらには海外にも暮らしがおり、さまざまな職業に就いている。

衣服・道具、祭具に見る美しいアイヌ文様、ユカラに代表される口承芸術、カムイを敬い感謝し、ともに楽しめ歌や踊りや祈りなど、固有の世界観を伝承し発展させてきた。

体験学習館

究の成果を紹介する展覧
 会なども開催。
 園には研究員、学生

体験学習館

○「カムイ・ユカラ」(毎日) アニメの
上演(毎日、4〜5回) (神謡)

工
房

スタッフによる木彫、フの指導を受けて製作で刺しゅう、織物、編物のきる体験プログラムを担っている。自分だけの製作実演や解説、スタッフ共

チセと野外ステージ

茅葺のチセ（家屋）5にとつて重要な働きをするもの、強い影響がある

教育旅行学習プログラム

教育旅行の受け入れに 6 万人を超える生徒
力を入れて取り組んでお たち来場する。
り、毎年、道内外の学校 その教育旅行の学習に

対応したモデルコースや体験プログラムを用意。事前に参加校や旅行社と綿密に打ち合わせながら、生徒たちの学習に役立てる受け入れ態勢を確立している。

【モデルコースの例】

- ②時間コース
博物館（基本展示室）を見学、伝統芸能鑑賞、自炊体験。
- ③時間コース
2時間コースのほかアイン料理体験がプラス（1日コース：約4・5時間）
- 3時間コースのほかにムツクリ演奏体験がプラス

〇旅行会社と連携し、周辺の登別、洞爺エリアを巡り、地元の人たちと交流し、多文化共生を考える学習プログラムも提供している。

A photograph of two traditional thatched-roof huts in a grassy field under a dramatic, cloudy sky at sunset or sunrise. The huts are built with natural materials, and the scene is bathed in the warm, golden light of the low sun, creating a peaceful and scenic atmosphere.

北海道登別洞爺
広域観光圏協議会
(<https://westiburi.jp>)

提供：公益財団法人アイヌ民族文化財団